
 巻 頭 言

森林計画最前線 ——緑豊かな森林の育成を目指した最新研究——*

特集コーディネーター

野堀嘉裕^{**1}・龍原 哲²・吉本 敦³・寺岡行雄⁴・伊藤太一⁵

1965年の林業統計研究会発足のころから森林研究の新たな手法としての情報処理技術がクローズアップされるようになってきた。この新たな技術は森林計画分野の主な研究分野である森林の測定技術、森林の機能評価法、森林資源の育成技術、経営管理手法などに組み込まれるようになってきた。その後、同研究会は1990年から森林計画学会に改称すると同時にその流れはさらに拡大し、さまざまな方向性でいろいろな理論が展開しつつあるが、その根幹的な課題は継続的な世代交代を図りつつ緑豊かな森林を育成することにある。

ところで、化石燃料の消費を原因とする大気中の炭酸ガス濃度の上昇に伴う地球の温暖化が懸念され、森林の炭素固定能力が再認識されるようになってきた今日にあって、森林計画に期待される分野は更に拡張されようとしている。今後期待される研究対象としては前述の分野に加え成長論、モニタリング、リモートセンシング、森林GIS、ダイナミクス、炭素固定、バイオマスエネルギー、レクリエーション、環境教育、森林文化などがあげられよう。何れも重要な課題であり、今後の発展が期待されるところであり、森林計画分野ではこれらの研究成果が次第に世に出

つつある。いずれの研究成果も森林を巡る様々な現場に直結したものであり、研究の応用価値は世界的にみても極めて高いものとなっている。この原動力は研究者の志向が単に材積経理に主眼を置いたものでなく、森林の機能全般について考慮したものであるからにほかならない。

一般的に森林科学を志す人は森好きな人が多いというが、なかでも森林計画分野の研究者は森好きだと思ふ。森の中で過ごし、調べ、味わい、聞き、感じる事が何より好きな人が集まっている。森の中で養われた彼らの発想は自由で止まるところを知らないので、研究分野は容易に学際的領域に拡大していくことができるのだろう。このような特徴が、フィールドワークとデスクワークを結びつける斬新な研究を生み出すことになるのだ。

この特集では特に若手研究者の中で活躍している人達の、最前線の研究を執筆していただくことで森林計画分野の紹介をすることとした。各研究者に課せられた課題は過去の研究成果を積算しつつ、新たな展開を示すことにある。もちろん今回の特集に掲載された研究成果が最新研究の全てではないが、この特集の読者の方々には着実に世代交代が進んでいることを実感することであろう。

* Yoshihiro Nobori, Satoshi Tatsuhara, Atsushi Yoshimoto, Yukio Teraoka, and Taichi Ito: In the Forefront of Forest Planning: Current Study Cultivating for Plenty Forest

** 連絡者 (Corresponding author)

¹ 山形大学農学部 (997-8555 鶴岡市若葉町1-23)

Faculty of Agriculture, Yamagata University, 1-23 Wakaba-machi, Tsuruoka, 997-8555, Japan.

² 東京大学大学院農学生命科学研究科 (113-8657 東京都文京区弥生1-1-1)

Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, 1-1-1 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8657, Japan.

³ 東北大学大学院環境科学研究科 (980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-20)

Graduate School of Environmental Studies, Tohoku University, 6-6-20 Aoba-Aramaki, Aoba, Sendai 980-8579, Japan.

⁴ 鹿児島大学農学部 (890-0065 鹿児島市郡元1丁目21-24)

Faculty of Agriculture, Kagoshima University, 1-21-24 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan.

⁵ 筑波大学大学院生命環境科学研究科 (305-8572 つくば市天王台1-1-1)

Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, 1-1-1 Tenno-dai, Tsukuba 305-8572, Japan.